

単元名 日づけと よう日

配当時間 3時間

単元の目標 (1) 身近なことを表す語句の量を増やし、語彙を豊かにすることができる。  
 (2) 語と語との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができる。  
 (3) 日付や曜日を表す言葉に関心をもち、自分でも唱歌を作ろうとする。

## 標準的な展開例

01010218\_001

【教材名】日づけと よう日 (下 P.64～P.65)

学 習 活 動	留 意 事 項 など
1 日付の読み方を知り、日付歌を唱える。 ★日付や曜日の読み方を知ろう。 ○日付歌を正確に唱える。  ○漢数字と日付の読み方を比べて、読み方の違いを知る。 ○自分の誕生日の言い方を発表する。 2 曜日の読み方を知り、曜日歌を唱える。 ○曜日歌を正確に唱える。  ○曜日歌をノートに書く。 3 自分の日付歌、曜日歌を作って発表する。  ○日付歌、曜日歌のどちらかを選び、漢字を正しく使って歌を作る。   ○自分の作った歌を発表し合う。	・リズムに合わせて唱えるとよい。  ・できれば暗唱できるまで読ませるとよい。 ・必要な場合は挿絵の説明をする。 ・同じ読み方と違う読み方があることに気付かせる。  ・追い読み、交替読みなど、いろいろな音読の方法で、繰り返し読むようにする。 ・曜日歌の挿絵を描かせてもよい。 【評】自分の日付歌や曜日歌を作る活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 ・全て作るのではなく、難しい場合は教科書の文をそのまま使ってもよいことを知らせる。 【評】日付歌や曜日歌を作る活動を通して、語と語との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫する「思考・判断・表現」を評価する。 【評】日付歌や曜日歌を作る活動を通して、身近なことを表す語句の量を増やし、語彙を豊かにする「知識・技能」を評価する。

【 備 考 】